

しまねの河川と海岸だより

令和3年4月号

発行：島根県土木部河川課

〔目次〕

- | | |
|------------------------------|-------------|
| ◆ 令和3年河川功労者が決定しました！ | 河川課 管理G |
| ◆ 波積ダム建設事業 波積ダム定礎式を挙行了しました | 浜田河川総合開発事務所 |
| ◆ 1級水系の「流域治水プロジェクト」が公表されました。 | 河川課 企画調査G |



【新型コロナウイルス感染拡大防止のため】

- 3密（密閉空間・密集場所・密接場面）を避けましょう！



令和3年河川功労者が決定しました！

河川課 管理グループ

令和3年4月23日、令和3年河川功労者が決定し、表彰者の発表がありました。

この表彰は、昭和24年から河川に対する国民の理解を深めるため、河川文化活動・河川愛護活動等に関して功績があった個人・団体に対し、その功績を称えるため、毎年、公益社団法人日本河川協会が表彰を行っております。

令和3年の河川功労者は、個人60、団体45、合計105の個人及び団体が表彰されます。表彰式は、令和3年6月1日、砂防会館シェーンバッハ・サボーで行われます。（新型コロナウイルス感染症拡大の状況によって、変更になる場合あり。）

この度、島根県から3団体が受賞されましたので、ご紹介いたします！

雲洲平田船川・平田船川・湯谷川河川愛護団体連絡協議会

平成18年の設立以来、雲洲平田船川、平田船川及び湯谷川などの河川の除草、清掃等を毎年実施するとともに、植樹や花植え、地元高校生との協働活動を実施するなど河川愛護意識の醸成・河川環境の保全に貢献されました。



雲南市立田井小学校



平成17年から宍道湖流入河川調査に参加し、学習のまとめとしてポスターやパンフレットを作り掲示したほか、学習発表会にて川の大切さについて発信するとともに、鮎やウナギの稚魚の放流を行うなど河川環境教育、河川環境の保全に貢献されました。

安来市立荒島小学校

平成16年から総合学習の一環として、久白川の水質調査を行い、河口の清掃活動、船による中海の水質調査のほか、学習成果を劇にして保護者や地域の人に発表し、河川環境教育、河川環境の保全に貢献されました。



※当該表彰については、公益社団法人日本河川協会が国土交通省の一般紙・専門紙の記者クラブで記者発表しています。

はつみ 波積ダム建設事業 波積ダム定礎式を挙りました

浜田河川総合開発事務所 波積ダム建設課

現在、江津市波積町の都治川で建設中の波積ダムにおいて、令和3年3月24日（水）青空が広がる中、国と県と江津市の関係者をはじめ、施工者や用地提供者、ほか地元関係者等50名が出席のもと「波積ダム定礎式」を執り行いました。定礎式は、ダムの永久堅固と安泰を祈願する式典です。

式典では丸山知事の式辞の後、古川浜田河川総合開発事務所長の工事報告、来賓からの祝辞、施工者挨拶、礎石を埋納する「定礎の儀」を行いました。「定礎の儀」は、スコップでモルタルを入れ込み礎石を固める「鎮定（ちんてい）の儀」、礎石の周りのモルタルを鍬（こて）でならす「斎鍬（いみごて）の儀」、木槌で礎石の隅を打ち据える「斎槌（いみづち）の儀」を行う儀式です。

礎石は、幅24cm、高さ40cm、長さ56cmの大きさで、重さは150kgほどあり、「木遣り唄（きやりうた）」に合わせ浜田河川総合開発事務所および安藤ハザマ・今岡工業・原工務所特別共同企業体の総勢10名の担ぎ手により搬入しました。



「定礎の儀」の様子



礎石埋納は、クローラクレーンにより運び込まれたバケットを丸山知事の合図で開放、コンクリートの投入を行い、くす玉開披により盛大に祝いました。

また、礎石の周りには江津東小学校の全校生徒90名が願い事など好きな言葉を書いたメモリーストーンを敷並べ、礎石とともに埋納しました。締め括りは、坪内県議会議員発声による万歳三唱で定礎を祝い、波積ダム完成への思いを固めました。

現在、波積ダム本体建設工事のコンクリート打設の進捗率は約16%です。これから工事は最盛期を迎えます。安全を最優先として着実に整備を進めてまいります。

<波積ダム諸元>

型式 重力式コンクリートダム
堤高 48.2m
堤頂長 126.0m
堤体積 67,280m³
総貯水容量 3,720,000m³



記念撮影（波積課職員）

1 級水系の「流域治水プロジェクト」が公表されました。

河川課企画調査グループ

流域治水プロジェクトの概要

- ◆ 平成 30 年 7 月豪雨や令和元年東日本台風、令和 2 年 7 月豪雨などの近年、頻発化・激甚化する水害に対応するため、河川管理者が主体となって行う対策に加え、あらゆる関係者が協働し流域全体で水害を軽減させる「流域治水」への転換を進めることが必要となっています。
- ◆ その中で、全国の 1 級水系（109 水系）において、流域全体で早急を実施すべき対策の全体像について、基本的な考え方、取組内容、今後の進め方（ロードマップ）などを取りまとめた「流域治水プロジェクト」を令和 3 年 3 月 30 日に公表しました。
- ◆ 島根県内では、1 級水系である、「斐伊川」「江の川」「高津川」の 3 水系について公表されております。

各水系の流域治水プロジェクトは以下のホームページに掲載しています

斐伊川水系流域治水協議会：<https://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/iinkai/ryuikichisui/index.html>

江の川水系流域治水協議会：<http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/river/ryuikichisui.html>

高津川水系流域治水協議会：http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/kasen/takatugawa/takatu_ryuikichisui-index.html

江の川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～ 中国地方最大の河川における多様な流域治水対策の推進 ～



～江の川水系流域治水プロジェクト～

【編集後記】 河川課 企画調査グループ 池田

令和3年度が始まりました。河川課は4月1日付の定期人事異動により14人のメンバーが新たに加わり、新体制となりました。新メンバーと共に、今まで以上に河川・海岸に関する情報発信を行ってまいりますので、皆様よろしくお願いいたします。

昨年4月の日より編集後記を見返すとコロナウイルスのことを取り上げておりました。1年前は全国的に緊急事態宣言が発令され、外出自粛や三密回避など自粛ムードが広がっていました。1年経った今でも第4波が押し寄せており、まだまだ自粛を求められる日々が続きそうです。この感染症が一日も早く収束し、日常生活が戻ることを切に願っております。

さて、島根県河川課では、今後も引き続き、河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

また、出前講座には以下のホームページから申し込みますのでこちらもご利用ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL : 0852-22-5647 FAX : 0852-22-5681

mail : kasen@pref.shimane.lg.jp



河川課 トップページ

<https://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/>

河川課 しまねの河川と海岸だより HP

<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/>



出前講座申し込み HP

<https://www.pref.shimane.lg.jp/seisaku/shimanedemaekouza/>

島根県水防情報システム：川の水位・雨量情報や監視カメラが見られます。

PC版 URL : <https://www.suibou-shimane.jp/pc>

スマホ版 URL : <https://www.suibou-shimane.jp/s>

携帯版 URL : <https://www.suibou-shimane.jp/m>

スマホ版



携帯版



川の水位情報（危機管理型水位計）：洪水時の川の水位が見られます。

PC・スマホ共通 URL : <https://k.river.go.jp/>